

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：4月第3・4週目）

- 1 国民の280万人以上が失業状態
- 2 国内リチウム取引における中国企業の“不透明な”契約が指摘される
- 3 国内インフレーション
- 4 第63回ジンバブエ国際貿易展（ZITF）の開催

1 国民の280万人以上が失業状態

ジンバブエ国家統計局（ZimStat）によると、国内の労働者人口のうち280万人以上が失業状態にあると報告された。2023年第1四半期の失業率は、46.7%である。（26日付、スタンダード紙）

報道リンク：<https://www.newsday.co.zw/thestandard/local-news/article/200010663/28m-zimbos-unemployed-zimstat>

2 国内リチウム取引における中国企業の“不透明な”契約が指摘される

ジンバブエ環境法協会（ZELA）の分析によると、国内リチウム鉱山事業における契約を結ぶ中国企業との締結は、秘密に包まれたものであるとし、数百万米ドルの損失を出している可能性がある。アフリカ環境法機関と共同で実施されたZELAによる調査によると、中国の鉱山事業社らは、当国政府の支援をもってリチウム埋蔵地を買い取っているが、契約内容の情報は不明瞭な部分が多く、国内リチウム産業は中国にコントロールされているとされる。（28日付、ニュースデイ紙）

報道リンク：<https://www.newsday.co.zw/business/article/200010746/think-tank-queries-opaque-chinese-lithium-contracts>

3 国内インフレーション

モノとサービスの価格は、過去数ヶ月で高騰しており、現並行市場での為替レートは2,000ZWL／米ドルに近づいている。公式レートは1,021ZWL／米ドルであり、2023年4月の年間インフレ率は、再度500%までに到達したと分析家は述べる。主な要因は、インフレ率計算にかかるデータの秘密性（ブレンド計算法の導入）、中央銀行による紙幣印刷、外貨規制、輸入にかかる巨額な請求書、現地通貨ZWLに対する信用の欠如である。長期的解決策は、独立した金融政策決定機関の存在である。（28日付、インディペンデント紙）

報道リンク：

<https://www.newsday.co.zw/theindependent/opinion/article/200010789/key-drivers-of-inflation-in-zim>

4 第63回ジンバブエ国際貿易展（ZITF）の開催

25～29日にかけて、ブラワヨ市で、第63回 ZITF が開催され、EU を含む100以上の企業及び団体が初めて出展し、全部で553団体が出展した。29日の公式開催宣言でスピーチを行ったムスワティ3世・エスワティニ国王は、違法な制裁にもかかわらず、現政権による迅速なインフラ開発や他事業の実施は、自国問題の自国による解決を目指すアフリカ大陸にとってインスピレーションであると述べた。（29日付、ヘラルド紙）

報道リンク：<https://www.herald.co.zw/massive-zitf-participation-shows-zim-is-open-for-business/>

日本ブースでは、在ジンバブエ日本大使館及び JICA による日本文化や経済協力活動紹介に加えて、富士フィルムによるインスタントカメラの展示等も行われた。